

第6回 江府町学校運営協議会 議事録

■期 日:令和5年3月15日(水)

■時 間:19:00~20:15

■場 所:日野川校舎 多目的ホール

<会議出席者>

【委員】宮本会長、井上裕吉副会長、井上廉女委員、船越委員、藤原委員、高津委員、篠田委員、加藤千恵子委員、加藤健一委員、景山委員(欠席:小椋委員、遠藤委員)

【事務局】富田教育長、谷田課長、森田副校長、山本教頭、竹田 CSD

1 開会

会長挨拶

2 報告

- ・3/3実施 日野川の源流と流域を守る会総会にて、荒田川自然環境と生き物体験学習会の活動報告について(竹田 CSD)
- ・令和5年度のCS事業予算について(谷田課長)
- ・3/13以降の学校でのマスク着用について、3月末まではマスク着用と文部科学省より通達が来ているため、その通りの対応とする(景山校長)

3 協議

(1) 奥大山江府学園の令和5年度の学校経営方針について

①令和5年度 学校経営方針(案)について説明(景山校長)

②質疑・応答

宮本会長	ICT活用について。ずいぶん前の事だが、江府中学校と韓国釜山市の中学校で、姉妹校の調印をした。社会情勢や国同士の情勢も変わったことで、今は交流が途絶えてしまっているが、調印したことについてはまだ有効だと思うので、国際交流の手段の一つとして考えてはどうか。まずはオンラインで交流ができるのではないかな。
景山校長	国際交流という観点では、教育委員会でも企画がある。
谷田課長	教育委員会では、7年生以上5名程度でニュージーランドへの留学を企画している。環境教育、エコツーリズムが盛んな国なので、環境を観光に活かしていくことを学び、未来のリーダーを育てていくことを目的としている。令和4年度も予算化はしてあったが実施は断念。令和5年度にも計画する。
景山校長	その他にも先日、ジャマイカから鳥取県に研修に来られていた方に、7年生を対象にジャマイカの紹介など話をしていただいた。生徒達も興味深く聞いていたようだ。対面に勝るものはないと思うが、簡単ではないので、ICTを活用して国際交流の機会を考えるのも良いかと思う。

委員	探究的な学習・考え方ができるかどうかについて昨今話題になっている。ふるさとキャリア教育の推進の中に書いてはあるが、さらに評価としてそれを取り上げることが効果的であると聞いているので、推進してもらいたい。
景山校長	何が探究的なのか、というところからのスタートなので十分な物にはなっていないかもしれない。しかし、教わるだけでなく自ら調べ、わかったことを基にさらに深めていく、そういったところは特にふるさと魅力発信科では大事にしたいと思っている。そして最終的には学園議会につながると考える。ちなみに、今年から高校入試の制度が変わり、自己推薦という枠ができた。自分が学んだことや取り組んだことについてのプレゼンをさせたりする高校もあり、本校の生徒もチャレンジをした。知識として持っているだけではなく、相手に発信していくというような総合的な力が大事なのだろうと思っている。

委員	グローバルな視点に立った・・・とあるが、何か具体的に決まっていることはあるのか。
----	--

景山校長	具体的にこれ、というのはまだ決まっていない。ただ、自分達の事を知る時にはあえて他を知る事で自分達の事が見えてくる、ということがあると思うので、広い視野で一度他を見聞きした上で、自分の良さや課題を認識することができるような機会を作っていきたいと思っている。
委員	例えば、海外の日本人学校と交流といったようなことはどうか。自分が小学生の時に、海外に赴任される先生がいらっしやり、手紙のやり取りをしたことがある。子どもにとって良い機会だと思ったので、一つの方法として提案する。
景山校長	日本人学校も方法としてあると思うが、もう一つは過去に本町の ALT として勤めてくださった方とオンラインなどで連絡を取り合うということも、可能かもしれない。ここにいながらにして、海外を意識するというのも大事な刺激だと思う。

委員	自分の生き方などについて考える時に自己指導能力は大事だと思うが、何でも自由にさせるばかりではなく、しなければならないことについてはしっかりさせるという指導は必要である。
景山校長	子育てもそうかもしれないが、指導において、適切な価値付けは大事だと思う。良い行いに対してそれを「良い」とする一方で、そうではないかもしれない時に、子ども達に「あの行動で良かったのか」と問うていく、それも大事だと思う。
委員	指導の際には、なぜその行動をしていけないのかという理由を説明することも大事である。

③承認

宮本会長	令和5年度の奥大山江府学園 学校経営方針について、承認とする。
------	---------------------------------

(2) 来年度の協議会について

来年度の年間スケジュールについて説明(森田副校長)

宮本会長	来年度のことについて意見があれば発言をお願いします。
委員	ブナの森校舎で春と秋に行っているふれあいの花活動も、学習・行事支援部の活動に入れてもらえたらと考える。また、日野川校舎の古文暗唱聞き取りについては人数が少ないので、ご協力いただきたい。
宮本会長	ボランティアの人数を増やしたい、ということだと思うが、ボランティアを増やすには募集する際に方法をしっかり検討する必要があると思う。 日野川校舎への活動が少ないように思うが、どうか。
景山校長	日野川校舎の生徒がこの2年間参加しているこいのぼりボランティアは、本当に良い活動になっていると思う。令和5年度はイベントも例年通りに戻るとい話も聞くので、こういったボランティアで日野川校舎の生徒が活躍する場面があるのではと考えている。

委員	古文の暗唱は、暗唱した後はどうするのか。何か次があるか。
森田副校長	特にない。暗唱して終わりだと思われる。
委員	例えば、自分達が覚えたものに絵も入れたりして低学年の子たちに披露するというのはどうか。自分のためにもなるし、もしかしたら聞いた子たちの興味も持たせられるのでは。
宮本会長	自分だけで覚えるよりも人に教えた方がより定着するので、案としては良いと思う。
委員	日輪祭での英語の暗誦発表などもあるので、つなげるのであればそういう場も使えるかもしれないので良いと思う。

委員	ながら見守りについて。今年度は毎月1日と15日とで立たせてもらったが、そのことについて何か届いた声はあるか。
健全育成部 部長	子どもと顔見知りになれるのは良かったことだと思う。年間2回程だが、場所を変えて立つので違う子も見られるので良かったと思う。
委員	駐在さんがおっしゃっていたが、定期的に立つことで運転者も気を付けるようになり、抑止力にもなるそうなので、来年度も続けていきたい。
宮本会長	ながら見守りについては、自分は夕方のバスを迎えるようにしている。中には挨拶をしない子もいたりする。大変だが、続けていこうと思っている。

健全育成部 部長	マスクを外した場合は喋るなどという指導なので挨拶しないというのもあるかもしれない。いずれにしても、もっと挨拶する子が増えると良い。
宮本会長	ながら見守りの協力者もそうだが、ボランティアの数を増やすということについては、来年度の部会の中で、重点的に話し合ってみてほしい。
森田副校長	健全育成部のボランティアについては、他のイベントも何かあれば教えてほしい。人数を増やすのももちろんだが、機会を増やしたいとも思っているので願います。

4 その他

- ・来年度保育園の保護者会代表 長谷川茜さん 学園代表は4月以降、PTA 新体制になってから決定
- ・富田教育長 挨拶

5 閉会